

授業科目名	心理学																																						
担当者名	毛利 泰剛																																						
科目コード	2000001	授業形態	講義																																				
学 年	2	開 講 期	前期																																				
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修																														
				○					○																														
授業の概要と方法	<p>「心理学」とは人間の心を科学的に解明する学問である。人はなぜそのような行動をしたのか、なぜそのような気持ちになったのかなど、心理学を学ぶことによって、自分や他者の気持ちを推測し、論理的あるいは客観的に理解することが可能になる。本講義では、多義にわたる心理学の分野を紹介し、社会人として必要なコミュニケーションについても学ぶ。</p>																																						
授業の到達目標	<p>①心理学の基礎知識を学び、人間の心の仕組みを知る。 ②心理学の知識を社会生活と結びつけて考える。 ③人間関係の心理を学び、簡単なコミュニケーション技術を習得する。</p>																																						
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1. 心理学とは何か</td><td>心理学の考え方を体験する</td></tr> <tr><td>2. 発達</td><td>発達と人間関係</td></tr> <tr><td>3. 認知</td><td>知覚と思考のメカニズム</td></tr> <tr><td>4. 学習</td><td>学習と記憶の理論</td></tr> <tr><td>5. 教育・実験</td><td>学級理解、動機付け、心理学実験</td></tr> <tr><td>6. コミュニケーション</td><td>対人関係論</td></tr> <tr><td>7. パーソナリティ</td><td>パーソナリティとファッション</td></tr> <tr><td>8. 対人関係パターン</td><td>対人関係を知る</td></tr> <tr><td>9. 場の理論</td><td>いい人、モテる人、好かれる人</td></tr> <tr><td>10. 社会</td><td>身近で人に影響を与える心理</td></tr> <tr><td>11. 人間関係①</td><td>恋愛心理学</td></tr> <tr><td>12. 人間関係②</td><td>家族心理学</td></tr> <tr><td>13. 臨床①</td><td>心の病気、心理療法</td></tr> <tr><td>14. 臨床②</td><td>心理検査、臨床心理学の応用</td></tr> <tr><td>15. まとめ</td><td>人はなぜ悩むのか</td></tr> </table>									1. 心理学とは何か	心理学の考え方を体験する	2. 発達	発達と人間関係	3. 認知	知覚と思考のメカニズム	4. 学習	学習と記憶の理論	5. 教育・実験	学級理解、動機付け、心理学実験	6. コミュニケーション	対人関係論	7. パーソナリティ	パーソナリティとファッション	8. 対人関係パターン	対人関係を知る	9. 場の理論	いい人、モテる人、好かれる人	10. 社会	身近で人に影響を与える心理	11. 人間関係①	恋愛心理学	12. 人間関係②	家族心理学	13. 臨床①	心の病気、心理療法	14. 臨床②	心理検査、臨床心理学の応用	15. まとめ	人はなぜ悩むのか
1. 心理学とは何か	心理学の考え方を体験する																																						
2. 発達	発達と人間関係																																						
3. 認知	知覚と思考のメカニズム																																						
4. 学習	学習と記憶の理論																																						
5. 教育・実験	学級理解、動機付け、心理学実験																																						
6. コミュニケーション	対人関係論																																						
7. パーソナリティ	パーソナリティとファッション																																						
8. 対人関係パターン	対人関係を知る																																						
9. 場の理論	いい人、モテる人、好かれる人																																						
10. 社会	身近で人に影響を与える心理																																						
11. 人間関係①	恋愛心理学																																						
12. 人間関係②	家族心理学																																						
13. 臨床①	心の病気、心理療法																																						
14. 臨床②	心理検査、臨床心理学の応用																																						
15. まとめ	人はなぜ悩むのか																																						
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合] 定期試験 (70%)、授業内課題及びコメントシート (30%)</p>																																						
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から人の話をきちんと聞くことを心掛けるようにしてください。 ・また、心理学で学んだことと自分の体験を結び付けて考えておきましょう。 ・日常の経験や体験を授業で記述してもらいます。 																																						
使用テキスト	<p>使用しない ・必要に応じて資料を配布する。</p>																																						
参考書 (参考資料等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に随時紹介する。 																																						
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学に興味のある人はぜひ受講してみてください。 ・授業内でグループワークや課題を行います。積極的に参加してください。 																																						
教員 e-mail アドレス	yasu.m@hcc.ac.jp																																						

授業科目名	美術								
担当者名	都留 守								
科目コード	2000002	授業形態	講義						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
				○		○			
授業の概要と方法	<p>「美術作品の鑑賞」を基に、発想を膨らませ、自由に想像したことを自分の方法で表現する授業を行います。</p> <p>(授業の概要)</p> <p>主体的に学び合う「美術作品の鑑賞」を通して、学習者が発見したり関心をもったりした課題を自分の方法で表現する授業です。</p>								
授業の到達目標	<p>(目標)</p> <p>「1. 作品鑑賞を通して、作家の生き方・作品の主題などに対する見方・感じ方・考え方を深めたり広げたりすること」</p> <p>「2. 表現と鑑賞の活動を通して自分の価値意識を高めること」を目標としています。「美術の学習を通して豊かな感性をもつ人間形成」を目指す授業です。</p>								
授業計画	<p>オリエンテーション</p> <p>1. 古賀春江「無題」からお話を創作し、色鉛筆でミニ紙芝居をつくる。</p> <p>2. ピカソの作品を鑑賞し、その幅広い表現を手掛かりに、「マイ作品バック」のデザインをする。①</p> <p>3. 色々な材料を使って、「マイ作品バック」を完成する②</p> <p>4. 「葛飾北斎、デビッド・ホックニー、モネ」が表現した「水」を鑑賞する。モダンテクニック（マーブリング）で「水」を表現する。</p> <p>5. モダンテクニック（マドレー）で「水」を表現する。</p> <p>6. 白髪一雄「切利天」を鑑賞し、モダンテクニック（ビー玉、スパッタリング、デカルコマニーなど）で創造的な表現活動を体験する。</p> <p>7. マティス「ジャズ」を鑑賞し、モダンテクニックで制作した画用紙をコラージュして音楽を表現する。</p> <p>8. 田中敦子「作品」を鑑賞し、和紙でランプシェードの土台をつくる。①</p> <p>9. ランプシェードの土台に和紙を張って乾かす。②</p> <p>10. ランプシェードの中身を抜いて完成し、灯りを灯す。③</p> <p>11. 糸園和三郎「老婦と子ども」を鑑賞し、「過去・現在・未来」を表現する。</p> <p>12. ドガ「マネとマネ夫人像」の切り取られた部分を想像してパスで表現する。</p> <p>13. ゴッホの「ひまわり」を鑑賞し、「私のひまわり」を表現する。</p> <p>14. 木下晋「103年の闘争 3 2003」に描かれたものを感じ取る。</p> <p>15. デューラー「祈りの手」を鑑賞する。「美術」のまとめ・評価をする。</p>								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間「<u>振り返りカード</u>」で、10項目の評価の観点を5段階で自己評価する（50%）。 ・毎時間「<u>振り返りカード</u>」の<u>記述（感想など）</u>で評価する（30%）。 ・「<u>鑑賞から生まれた作品</u>」を評価する（20%）。 ・<u>自主的に調べたり、展覧会に行き鑑賞したりして提出したレポートは、重く評価する。</u> 								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・作家の略歴、作品について事前に調べましょう。 ・授業中に興味、関心をもったことや課題を、自分で意欲的に調べて解決するようにしましょう。 ・美術館、博物館、図書館などに足を運びましょう。 								
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>振り返りカード</u>」を毎時間提出します。 ・「<u>作品鑑賞カード</u>」「<u>作品カード</u>」「<u>鑑賞資料</u>」を必要に応じて配布します。 								
参考書（参考資料等）	<ul style="list-style-type: none"> ○『<u>見つめる 感じる 考える Watch Feel Think</u>』＝鑑賞学習資料：北九州市立美術館を活用した学習プログラム ○『<u>見つめる 感じる 考える Watch Feel Think</u>』＝平成 21・23 年度科学研究費補助金基盤研究（B）研究課題「対話による意味生成的な美術環境教育の地域カリキュラム開発」報告書 								
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>作業がしやすい服装</u>で参加してください。 ・はさみ、のり、カッター、定規を各自で用意すると授業に取り組みやすくなります。 								
教員 e-mail アドレス	tsuru@hcc.ac.jp								

授業科目名	国語								
担当者名	増田 夏彦								
科目コード	2000003	授業形態	講義						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
				○		○			
授業の概要と方法	<p>「言葉」というものは時代とともに変化し続けており、「日本語」もその例外ではない。その変化し続けていく過程の中で、ら抜き言葉や敬語の乱れなど、日本語の乱れがよく指摘されている。</p> <p>大学生に必要な日本語表現について問題を解きながら学び、一般常識を身につけ、就職試験に対応できるようにするのが本講義のねらいである。</p>								
授業の到達目標	<p>「国語」で学んだことを実践的に活用できるように、大学生として必要な一般常識問題や応用問題を繰り返し解くことで、思考力や想像力を伸ばし、更なる言語能力や表現能力の向上を図り、就職試験に役立てることが本講義の目標である。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション……授業の説明、計画。漢字の読み方・書き取り① 漢字の学習……漢字の構造 漢字の学習……漢字の部首（部首名） 漢字の学習……漢字の部首（「偏」を含む漢字） 漢字の学習……漢字の部首（「偏」以外の部首を含む漢字） 熟語の学習……熟語の構造， 二字・三字熟語⑤ 熟語の学習……四字熟語（ア行～）⑥⑦ 熟語の学習……四字熟語（ナ行～）⑧ 漢字の使い分け……同音異義語（ア行～）⑧⑨ 漢字の使い分け……同音異義語（サ行～）⑩⑪ 漢字の使い分け……同訓意義語⑫⑬ 漢字の使い分け……漢字の誤用⑭ 漢字の学習……漢字の読み方・書き取り⑫⑬ 漢字の学習……漢字の読み方・書き取り⑫⑬ まとめ……講義のまとめ（○数字は、テキストの回数） 								
成績評価の方法	<p>・定期試験を行い、授業態度や提出物などを加味して、総合的に評価する。 [評価項目と割合] 定期試験（70%）、授業態度・提出物（30%）とする。</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<p>・各回の講義にて、事後学修等について連絡をします。</p>								
使用テキスト	<p>○「三訂版 国語の常識 plus」(明治書院) その他にプリントを配布します。※各自ファイルを用意すること。</p>								
参考書 (参考資料等)	<p>・講義の中で、適宜紹介していきます。</p>								
その他 (受講生への要望等)	<p>・とにかく社会人になって損をしない、恥をかかない国語力だけは身に付けてください。 ・<u>テキストは必ず購入してください。数回終了後、テキストを持っていない者（なくした者を含む）には単位を出せません。</u></p>								
教員 e-mail アドレス	授業の前後 10 分間は、2 号館 4 階非常勤講師室にて待機。								

授業科目名	社会福祉								
担当者名	藤岡 良幸								
科目コード	2100024	授業形態	講義						
学 年	2	開 講 期	後期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
				○		○			○
授業の概要と方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会における社会福祉の意義・理念について理解させる。 ○ 社会福祉の法体系、制度及び行財政の要旨を理解させる。 ○ 社会福祉サービス体系における公私の役割活動について理解させる。 ○ 社会福祉援助技術及び福祉専門職の役割を理解させる。 ○ 社会福祉関連領域～医療福祉・地域福祉・ボランティア活動の概要を把握させる。 ○ 現代における利用者保護制度を理解させる。 								
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における社会福祉の全般について理解する。 具体的には、社会福祉の意義、理念、法体系、制度及び行財政、福祉専門職、関連領域について理解する。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義の概要及びオリエンテーション ①社会福祉の考え方 2. ②社会福祉を取り巻く環境 3. ③社会福祉の歴史 4. ④社会福祉の仕組み 5. ⑤社会福祉サービスの利用の仕組み 6. ⑥社会福祉の機関と施設 7. ⑦社会保障 8. ⑧低所得者福祉 9. ⑨児童家庭福祉 10. ⑩高齢者福祉 11. ⑪障害者福祉 12. ⑫地域福祉 13. ⑬利用者保護制度 14. ⑭社会福祉援助技術 15. ⑮社会福祉の担い手及び全体のまとめ 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>授業への取組み (20%)、定期試験 (80%)</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	○授業終了後に、理解度・到達度のアンケートをとる。								
使用テキスト	<p>使用しない</p> <p>・参考資料配布</p>								
参考書 (参考資料等)	○「保育福祉小六法 2014 年度版」(みらい)								
その他 (受講生への要望等)	・社会福祉に関する新聞記事を読んでおくこと。								
教員 e-mail アドレス	y-fujioka7@hcc.ac.jp								

授業科目名	社会学								
担当者名	栗林 精司								
科目コード	2000006	授業形態	講義						
学 年	2	開 講 期	後期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
				○					
授業の概要と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の多様な側面を考え、自分の「立ち位置」を知り、生き方を考える。 ・テーマごとに「現実」のデータ事例に基づいて理解していく。 ・講義、板書を中心に授業。 								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の社会が歴史的にどう形成されてきたのか、その推移を知る。 2. 将来どうなるか考え、自分が進む方向の一助になる知識を身につける。 3. 現在の社会の問題について一定の理解を持つ。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクションー社会学について 何が対象か 2. 社会階層 歴史的な社会階層の変遷、階層行動、自分はどの階層か 3. 人口論 (1) 少子高齢化とは その現状 4. // (2) 少子化の推移、原因を考える (未婚、晩婚) 5. // (3) 高齢化の推移、原因 (寿命など) 6. // (4) 少子高齢化の問題、世代間アンバランス、解決策は... 7. 学校から職業人へー高等教育機関への進学率アップ、雇用問題 8. 流行を考える ー流行語を通して 9. 豊かな社会と格差「相対」「絶対」 貧困率にみる格差、セーフティーネット 10. 少数者の視点 (1) 障害者ー弱者からみると社会の本質がうかがえる 11. // (2) 在日外国人ーボーダレス化、国際化が進む日本社会 12. 成人とは ー成人年齢の考え方、少年法、民法、参政権について 13. ジェンダー ー女性の生き方、性差別など 14. 親密性のワナー個人化、孤立化する中で「スマホ」など過剰に親密さを求める姿は... 15. 幸福・希望についてー生きていくうえでの幸福、その尺度/生きる力を強くするには 								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・重要テーマの講義後に小レポート。 ・期末に課題レポート。 <p>[評価項目と割合] 期末試験 (80%) 小レポートは加点方式で (20%)</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義後に課された「重要傾向」についてレポートする。 ・次回テーマを伝えるので、自分にとっての課題を考える。 								
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中に適宜資料を配布する。 								
参考書 (参考資料等)	○「少子化白書」「労働白書」日々の新聞記事など								
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週配布するレジュメ資料に内容を肉付けすること。 ・社会の旬の話題 (ニュース) に関心を持つこと。 								
教員 e-mail アドレス	講義終了後 10 分間は、2 号館 4 階非常勤講師室にて待機。								

授業科目名	経済学								
担当者名	久保田 勝広								
科目コード	2120001	授業形態	講義						
学 年	2	開 講 期	後期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
				○				○	
授業の概要と方法	経済の現状を正しく理解し、評価する視点は、ビジネス実践での判断や家計の生活設計を考える上で欠かせない要素となっています。本講義では、テレビや新聞で報道される各種の経済指標を判断し、社会人として最適な意思決定をするための基礎知識の習得を目的として、それらに関わる重要な基礎事項について理解を深めます。トピックな経済ニュース事例などとも関連づけながら解説します。								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済主体の構成と役割、市場機構の仕組みが説明できる。 2. 財政・金融政策の方法と効果、および国民所得との関係が説明できる。 3. 国際貿易の基礎理論、保護貿易・自由貿易の長所・短所が説明できる。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス：講義方針、講義内容、評価方法、学習方法の説明 2. 経済の基本問題：希少性、資源再配分問題、市場経済・計画経済 3. 経済環境の構造：経済主体の役割と構成、市場機構の仕組み 4. 経済の金融構造：フローとストック、直接金融・間接金融 5. 国民所得の概念：マクロ経済の経済主体、付加価値、三面等価の原則 6. 均衡所得の決定①：有効需要の原理、消費関数、投資関数 7. 均衡所得の決定②：消費関数・投資関数と均衡国民所得 8. IS-LM 分析①：貨幣需要と貨幣供給、IS 曲線、LM 曲線 9. IS-LM 分析②：IS-LM 分析による財政・金融政策の目的と効果 10. 消費者行動の理論：消費者行動の目的と制約、効用、無差別曲線、最適消費 11. 生産者行動の理論：生産者行動の目的と制約、等量曲線、生産可能曲線 12. 市場経済と資源配分の有効性：消費者余剰、生産者余剰、パレート最適 13. 市場の失敗：外部性と経済の非効率性、外部性の内部化、環境税 14. 国際貿易の仕組み：比較優位、国際分業、保護貿易と自由貿易 15. 総括：既習範囲の重点項目の整理 								
成績評価の方法	授業への積極的な参加意欲、授業の理解度を確保するため毎回小テストを実施し、あわせて授業中に学んだ知識の定着度を確保するための期末試験により総合的に評価します。評価の比率は、小テスト(20%)、期末試験(80%)とします。								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・準備学修として、シラバス記載の授業計画の内容を参考にしながら、インターネット、図書館等で関連キーワードについて調べておくこと。 ・事後学修として、授業中に指摘した重点項目、小テストでとりあげたポイントを反復して覚える。実際の経済ニュース、事象に照らして考える。 								
使用テキスト	・テキストは使用しません。適宜プリント資料を配布します。								
参考書(参考資料等)	<ul style="list-style-type: none"> ○「経済学・入門第2版」塩澤修平(有斐閣アルマ) ○「ミクロ経済学」伊藤元重(日本評論社) ・ウェブサイト (日本経済新聞社 http://www.nikkei.com、 経済産業省 http://www.meti.go.jp 財務省 http://www.mof.go.jp 金融庁 http://www.fsa.go.jp) 								
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・受講の際に、ラインマーカーを2色ほど用意してください。 ・講義内容、準備学修・事後学修で理解し難いところ、疑問点等があれば遠慮せずに質問し早期の解決をはかること(質問等は、下記アドレスで常時受け付けます)。 ・日頃から経済ニュース・記事に関心をもってください。 								
教員 e-mail アドレス	hirokub320fb6iotjphd@y4.dion.ne.jp								

授業科目名	統計学								
担当者名	山本 浩貴								
科目コード	2120002	授業形態	講義						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
				○				○	
授業の概要と方法	<p>統計学とは、数値などの様々なデータを集め、整理してグラフなどに表したりすることによって、その集団の特徴や性質を調べるための学問である。この統計学をできる限り、数式を使わずわかりやすく解説する。</p> <p>企業では、販売数や売上高などのデータを集計し分析し、数ヶ月先の売上を予測したり、どのような商品が売れ、どのような商品が売れていないかを調べて予測しなければならない。売れる商品を売れる時に売れる分だけ用意できれば、販売戦略が優位に進む。企業ではこのような的確な分析と予測をし、売上を伸ばすよう努力している。この講座では、グラフなどを使って全体像をつかむ事を主な目的とし、ビジネス社会に入って経験するであろう、分析の方法や表現法を学習する。</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実社会において上記のような基本的統計の活用ができるレベルを目標とする。 2. ビジネス社会で働く者にとって、基本的統計学の活用ができるレベルを目標とする。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統計学とは。どのように実社会で統計学が活用されているか 2. 質的データ、量的データ 3. 様々な分析用グラフ 4. 度数分布表とヒストグラムの作成。基本問題 5. 度数分布表とヒストグラムの作成。応用課題 6. 小テスト（基本問題） 7. 平均、中央値、最頻値 8. 分散、標準偏差 9. 小テスト（分散と標準偏差） 10. 散布図と相関分析 11. 回帰分析。市場における需要予測への利用 12. 確率の基礎 13. 確立における加法定理、乗法定理、余事象の定理 14. 正規分布とは。正規分布による予測 15. まとめ 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>課題（30%）、定期試験（60%）、その他（10%）</p>								
授業外で行うべき学修（準備学修・事後学修等）	<p>・復習を重点的に学習すること。例題の意味を理解し、練習問題を反復して解き、理解してほしい。</p>								
使用テキスト	<p>○「はじめての統計学」 鳥居泰彦（日本経済新聞社）</p>								
参考書（参考資料等）	<p>・授業の進度に応じて適宜紹介する。</p>								
その他（受講生への要望等）	<p>・毎回の積み重ねなので、欠席しないように。</p>								
教員 e-mail アドレス	yamamoto555@gmail.com								

授業科目名	国際理解								
担当者名	竹並 正宏								
科目コード	2000010	授業形態	※講義と研修						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
					○				
授業の概要と方法	<p>本学は、平成 13 年に韓国・釜山女子大学と姉妹校締結をした。教育目標として、学生達のより積極的な国際意識と外国の教育現場における国際的交流感覚の高揚というねらいで国際的感覚を持った人材を育成することをテーマに、釜山女子大学は建学の理念である現代の韓国社会の要請に応ずる人材の育成と徳性教育により、創意、誠実、礼節をそなえた明るく礼儀正しい人材を育て上げる教育に重点を置いた大学である。日韓の文化を相互に理解し、韓国語をトータルに学び、いかに実践的に活用できるかを目的とする。</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生達のより積極的な参加意識と外国の教育現場における国際的交流感覚の高揚というねらいで、国際的感覚を持った人材に成長しようとする姿勢が身に付いている。 2. 日本と韓国との文化を相互に理解して、また韓国語をトータルに学び、その学んだことをいかに実践的に活用できる姿勢が身に付いている。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・・・国際交流の目的について 2. マナーについて・・・目上に対する挨拶の仕方（会話）・挨拶の仕方 3. 韓国の教育について・・・学歴社会の特徴（会話）・挨拶の仕方 4. 韓国の食生活について・・・韓国料理と食文（会話）・数の数え方① 5. 韓国の自然について・・・各都市の把握とオンドル（会話）・数の数え方② 6. 韓国の交通について・・・地下鉄やタクシーの乗り方（会話）買い物での会話① 7. 韓国の姓氏について・・・父系の血統（会話）・・・買い物での会話② 8. 韓国の家屋について・・・建築と町並み（会話）・・・買い物での会話③ 9. 韓国の年中行事について・・・年間の風習（会話）・・・時間と曜日① 10. 韓国の経済について・・・同族的経営（会話）・・・時間と曜日② 11. 韓流スターについて・・・日本における韓流（会話）・・・ホテルでの会話① 12. 日韓の歴史について・・・韓国人の対日観①（会話）・・・ホテルでの会話② 13. 日韓の文化交流について・・・韓国人の対日観②（会話）・・・場面別会話① 14. 渡航手続きについて・・・最終日程の説明指導（会話）・・・場面別会話② 15. 結団式 								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験は実施しない。 担当教員が、事前学習の受講態度、研修中の状況及び研修終了後の報告書(レポート)を総合的に評価する。 ・[評価項目と割合] 授業態度 (20%)、研修中の態度(20%)、報告書 (60%) 								
授業外で行うべき学修(準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化の取り組みの中で、海外で日本人としての自覚に基づき目的や状況に応じた適切な言動をとることが重要であることを認識して臨む。 								
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ○プリント配布（テレビでハングル講座） ○参考図書 「韓国入門」 山本剛士（三省堂選書） 								
参考書（参考資料等）	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビでハングル講座などの視聴覚を使いながら、より具体的にわかりやすく進めていく。 								
その他(受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生達のより積極的な参加意識と外国の教育現場における国際的交流感覚の高揚というねらいで、国際的感覚を持った人材に成長しようとする姿勢が身に付くように世界で起きている諸問題に目を向けて授業に臨んでほしい。 								
教員 e-mail アドレス	takenami@knwu.ac.jp								

授業科目名	英語 I																																						
担当者名	笹原 ひとみ																																						
科目コード	2000017	授業形態	演習																																				
学 年	1	開 講 期	前期																																				
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修																														
			○			○			○																														
授業の概要と方法	ショートストーリーを楽しむことができる英語力を身につけることを目標に語の選択、並びかえ、英作文など多彩なエクササイズを多くこなして、英語の基本的な仕組みを理解し読解に応用します。																																						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英文法の基本を理解する。 2. 身近なことを英語で書くことができる。 3. ストーリーを読むことができる。 																																						
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1. A very Smart Dog(1)</td><td>語彙強化、文法</td></tr> <tr><td>2. A very Smart Dog(2)</td><td>読解、聴解、要約</td></tr> <tr><td>3. The Gift(1)</td><td>語彙強化、文法</td></tr> <tr><td>4. The Gift(2)</td><td>読解、聴解、要約</td></tr> <tr><td>5. An Amazing talking Dog(1)</td><td>語彙強化、文法</td></tr> <tr><td>6. An Amazing talking Dog(2)</td><td>読解、聴解、要約</td></tr> <tr><td>7. English Language(1)</td><td>語彙強化、文法</td></tr> <tr><td>8. English Language(2)</td><td>読解、聴解、要約</td></tr> <tr><td>9. It Hurts !(1)</td><td>語彙強化、文法</td></tr> <tr><td>10. It Hurts !(2)</td><td>読解、聴解、要約</td></tr> <tr><td>11. Cold Cream(1)</td><td>語彙強化、文法</td></tr> <tr><td>12. Cold Cream(2)</td><td>読解、聴解、要約</td></tr> <tr><td>13. Diet Problem(1)</td><td>語彙強化、文法</td></tr> <tr><td>14. Diet Problem(2)</td><td>読解、聴解、要約</td></tr> <tr><td>15. Review</td><td></td></tr> </table>									1. A very Smart Dog(1)	語彙強化、文法	2. A very Smart Dog(2)	読解、聴解、要約	3. The Gift(1)	語彙強化、文法	4. The Gift(2)	読解、聴解、要約	5. An Amazing talking Dog(1)	語彙強化、文法	6. An Amazing talking Dog(2)	読解、聴解、要約	7. English Language(1)	語彙強化、文法	8. English Language(2)	読解、聴解、要約	9. It Hurts !(1)	語彙強化、文法	10. It Hurts !(2)	読解、聴解、要約	11. Cold Cream(1)	語彙強化、文法	12. Cold Cream(2)	読解、聴解、要約	13. Diet Problem(1)	語彙強化、文法	14. Diet Problem(2)	読解、聴解、要約	15. Review	
1. A very Smart Dog(1)	語彙強化、文法																																						
2. A very Smart Dog(2)	読解、聴解、要約																																						
3. The Gift(1)	語彙強化、文法																																						
4. The Gift(2)	読解、聴解、要約																																						
5. An Amazing talking Dog(1)	語彙強化、文法																																						
6. An Amazing talking Dog(2)	読解、聴解、要約																																						
7. English Language(1)	語彙強化、文法																																						
8. English Language(2)	読解、聴解、要約																																						
9. It Hurts !(1)	語彙強化、文法																																						
10. It Hurts !(2)	読解、聴解、要約																																						
11. Cold Cream(1)	語彙強化、文法																																						
12. Cold Cream(2)	読解、聴解、要約																																						
13. Diet Problem(1)	語彙強化、文法																																						
14. Diet Problem(2)	読解、聴解、要約																																						
15. Review																																							
成績評価の方法	・授業内で毎回小テストを行う。 期末テストを行い、総合的に評価する。 評価の比率は、小テスト（60%）、期末テスト（40%）																																						
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本文法及び構文の確認 ・演習の復習 等 																																						
使用テキスト	○「Laugh and Learn」 keiko kimura （南雲堂）																																						
参考書（参考資料等）	<ul style="list-style-type: none"> ・Breaking News English http://www.breakingnewsenglish.com/ ・TED-Ed http://ed.ted.com/ 																																						
その他 (受講生への要望等)	・基本英文法を身につけて様々なメディアの英語を楽しんでください。																																						
教員 e-mail アドレス	hitomisty@gmail.com																																						

授業科目名	英語 II								
担当者名	笹原 ひとみ								
科目コード	2000018	授業形態	演習						
学 年	1	開 講 期	後期						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
			○			○			○
授業の概要と方法	ショートストーリーを楽しむことができる英語力を身につけることを目標に語の選択、並びかえ、英作文など多彩なエクササイズを多くこなして、英語の基本的な仕組みを理解し読解に応用します。								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英文法の基本を理解する。 2. 身近なことを英語で書くことができる。 3. ストーリーを読むことができる。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Memory Problem (1) 語彙強化、文法 2. Memory Problem (2) 読解、聴解、要約 3. Memory Problem (3) 読解、聴解、要約、作文 4. A Good Chess Player (1) 語彙強化、文法 5. A Good Chess Player (2) 読解、聴解、要約 6. A Good Chess Player (3) 読解、聴解、要約、作文 7. A Mime in a Zoo (1) 語彙強化、文法 8. A Mime in a Zoo (2) 読解、聴解、要約 9. A Mime in a Zoo (3) 読解、聴解、要約、作文 10. A Snail's Fast New Car (1) 語彙強化、文法 11. A Snail's Fast New Car (2) 読解、聴解、要約 12. A Snail's Fast New Car (3) 読解、聴解、要約、作文 13. You Know How To Cope (1) 語彙強化、文法 14. You Know How To Cope (2) 読解、聴解、要約 15. You Know How To Cope (3) 読解、聴解、要約、作文 15. Review 								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で毎回小テストを行う。 期末テストを行い、総合的に評価する。評価の比率は、小テスト（60%）、期末テスト（40%） 								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本文法及び構文の確認 ・演習の復習 等 								
使用テキスト	○「Laugh and Learn」 keiko kimura (南雲堂)								
参考書 (参考資料等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Breaking News English http://www.breakingnewsenglish.com/ ・ TED-Ed http://ed.ted.com/ 								
その他 (受講生への要望等)	・基本英文法を身につけて様々なメディアの英語を楽しんでください。								
教員 e-mail アドレス	hitomisty@gmail.com								

授業科目名	スポーツ健康科学 I								
担当者名	石原 勇次郎								
科目コード	2000019	授業形態	講義・実技						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
			○			○			
授業の概要と方法	講義においては、健康の維持・増進や生活習慣病の予防、精神の安定（ストレスマネジメント）、文化としてのスポーツの意味合い等を理解し、多角的にスポーツを捉えることで、健康的な生活をおくる為の知識を習得する。特に「スポーツ健康科学I」では自身の身体の状態を把握・理解することに注力する。また、実技においては、講義にて得られた知識をもとに、生涯にわたり継続可能なスポーツ種目に親しむことのできる能力獲得を目標にし、自らが主体的な姿勢で取り組み、各種スポーツのルール理解と実践、身体を動かす楽しさや重要性を理解する。								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 自身の身体の状態を把握、理解する。 健康の維持、増進の為の知識を得る。 様々な角度からスポーツを捉え、文化としてのスポーツの意味を理解する。 自ら進んで行動し、主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 スポーツのルールを理解し、実践できる。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 実技 オリエンテーションおよび学内レクスポ大会に向けた練習① 実技 学内レクスポ大会に向けた練習②（出場種目の練習） 実技 体力測定（成人期を前にした身体状態の把握） 講義 心身の機能の発達（身体状態の把握と健康の維持）【小レポート①】 実技 ニュースポーツ①（ドッジビーにおけるルールと基本テクニックの理解・習得） 実技 ニュースポーツ②（試合） 実技 フットサル①（ルールと基本テクニックの理解・習得） 実技 フットサル②（基礎練習と試合） 実技 フットサル③（試合） 講義 運動やスポーツの魅力（必要性和楽しさの仕組み）【小レポート②】 実技 バドミントン①（ルールと基本テクニックの理解・習得） 実技 バドミントン②（ダブルス試合）（基本テクニックと応用） 実技 バドミントン③（ダブルス試合） 実技 バドミントン④（シングルス試合） 講義 スポーツの文化的側面（文化としてのスポーツへの理解と前期のまとめ）【小レポート③】 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>授業態度（40%）、講義毎の小レポート（20%）、理解度確認小テスト（20%）、ゲーム結果（20%）</p> <p>※授業態度評価については、授業後に記入する自己評価表と教員による評価を合わせたものとする。</p>								
授業外で行うべき学修（準備学修・事後学修等）	<ul style="list-style-type: none"> ・前期最後の講義にて小テストを実施するので、講義で配られた資料を各自まとめておくこと。 ・新聞等を読み、日頃からスポーツ、健康に関する情報を収集するよう努めること。 								
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中に適宜、資料を配布する。 								
参考書（参考資料等）	特になし								
その他（受講生への要望等）	<ol style="list-style-type: none"> ①講義を行う際は前週までに掲示をしますので、各自確認を行い、指定された講義室に筆記用具を持って集合すること。毎回の授業では資料を配布し記述をしてもらいます。授業の終わりに感想や意見を記述する小レポートを課します。また、前期まとめの際に、配布資料をもとにした穴埋め形式での理解度確認小テストを実施しますので、各自資料の管理を行い受講すること。 ②実技は基本的に第一体育館で実施しますが、場所の変更が生じる際は前週に告知をします。実技の際はピアス、アクセサリ等はずして集合し、運動に適した服装と運動靴（体育館では指定されたシューズ）を着用すること。尚、体調不良により実技に参加できない場合は速やかに担当教員に申し出ること。 								
教員 e-mail アドレス	ishiharay@hcc.ac.jp								

授業科目名	スポーツ健康科学 II								
担当者名	石原 勇次郎								
科目コード	2000020	授業形態	講義・実技						
学 年	1	開 講 期	後期						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
			○			○			
授業の概要と方法	<p>「スポーツ健康科学II」では、原則的に「スポーツ健康科学I」を習得してから履修するものとする。講義においては、「スポーツ健康科学I」に引き続き、健康の維持・増進や生活習慣病の予防、精神の安定（ストレスマネジメント）、文化としてのスポーツの意味合い等を理解し、多角的にスポーツを捉えることで、健康的な生活をおくる為の知識を習得する。また、実技では、講義にて得られた知識をもとに、生涯にわたり継続可能なスポーツ種目に親しむことのできる能力獲得を目標にし、各種スポーツのルールを理解と実践、身体を動かす楽しさや重要性を理解し、自らが主体的な姿勢で実践する。</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の維持、増進の為の知識を得る。 2. 様々な角度からスポーツを捉え、文化としてのスポーツの意味を理解する。 3. 自ら進んで行動し、主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 4. スポーツのルールを理解し、実践できる。 5. 運動の楽しさを知り、運動を習慣化できる。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 運動やスポーツの効果と安全（心身への影響）【小レポート①】 2. 実技 バレーボール・ソフトバレーボール①（ルールと基本テクニックの理解・習得） 3. 実技 バレーボール・ソフトバレーボール②（基礎練習と試合） 4. 実技 バレーボール・ソフトバレーボール③（応用練習と試合） 5. 実技 バレーボール・ソフトバレーボール④（試合） 6. 講義 障害の防止（応急手当の基本）【小レポート②】 7. 実技 バasketボール①（ルールと基本テクニックの理解・習得） 8. 実技 バasketボール②（基礎練習と試合） 9. 実技 バasketボール③（応用練習と試合） 10. 実技 バasketボール④（試合） 11. 実技 選択種目①（スポーツ健康科学I・IIを通して経験した種目からクラスで選択） 12. 実技 選択種目②（スポーツ健康科学I・IIを通して経験した種目からクラスで選択） 13. 実技 選択種目③（スポーツ健康科学I・IIを通して経験した種目からクラスで選択） 14. 講義 後期のまとめ【小テスト】 15. 実技 選択種目④（スポーツ健康科学I・IIを通して経験した種目からクラスで選択） 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合] 授業態度（40%）、講義毎の小レポート（20%）、理解度確認小テスト（20%）、ゲーム結果（20%） ※授業態度評価については、授業後に記入する自己評価表と教員による評価を合わせたものとする。</p>								
授業外で行うべき学修（準備学修・事後学修等）	<ul style="list-style-type: none"> ・後期最後の講義にて小テストを実施するので、講義で配られた資料を各自まとめておくこと。 ・新聞等を読み、日頃からスポーツ、健康に関する情報を収集するよう努めること。 								
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中に適宜、資料を配布する。 								
参考書（参考資料等）	特になし								
その他（受講生への要望等）	<ol style="list-style-type: none"> ①講義を行う際は前週までに掲示をするので、各自確認を行い、指定された講義室に筆記用具を持って集合すること。毎回の授業では資料を配布し記述をしてもらいます。授業の終わりに感想や意見を記述する小レポートを課します。また、後期まとめの際に、配布資料をもとにした穴埋め形式での理解度確認小テストを実施するので、各自資料の管理を行い受講すること。 ②実技は基本的に第一体育館で実施しますが、場所の変更が生じる際は前週に告知をします。実技の際はピアス、アクセサリー等はずして集合し、運動に適した服装と運動靴（体育館では指定されたシューズ）を着用すること。尚、体調不良により実技に参加できない場合は速やかに担当教員に申し出ること。 								
教員 e-mail アドレス	ishiharay@hcc.ac.jp								

授業科目名	美容ファッションビジネス論								
担当者名	阿部 敬一郎								
科目コード	2100002	授業形態	講義						
学 年	2	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
			○						
授業の概要と方法	美容、ファッションの価値の基準は様々で、消費者・サービス利用者に対して高い満足感を与えることは難しい。美容とファッションをビジネスとして成り立たせる知識をベースに、感性を高めていきます。								
授業の到達目標	消費者満足の仕組みを理解し、美容・ファッションをビジネスにするための知識を会得できる。独自のビジネスモデルを構築できる力を身につけることを目指す。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 美容ファッションビジネスの概要、授業の進め方の説明 2. 美容入門① ～世界に負けない日本の化粧品 3. 美容入門② ～世界に押されている日本のアパレル 4. 消費者の価値の創造① ～口コミ 5. 消費者の価値の創造② ～No1、第一位、〇万などの数のマジック 6. いくらで売れるか。課題の発表 7. モノ作りの基本フロー 8. 美容ファッションに必要な原価・マーケティング費用 9. クレームを知り、対応の基本を理解する 10. 美容ファッションビジネスの成功事例を分析する 11. 個人対個人のコミュニケーションの基礎 12. コミュニケーションツールについて 13. 美容ファッションに対するプロ意識と怒り 14. 消費者・サービス利用者の育成 15. 美容ファッションに関する実践的なケーススタディ、総括 								
成績評価の方法	[評価項目と割合] 課題 (40%)、レポート (40%)、小テスト (20%)								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題…テーマを決め、チームで学習およびプレゼンを作ってもらいます ・ ビジネス分析…授業で学んだ手法を使い、気になるビジネスを分析するレポートを作成してもらいます ・ コミュニケーションツールの利用…インターネットを使用したアプリケーションソフトを使います 								
使用テキスト	使用しない								
参考書 (参考資料等)	・ 必要とする参考資料を配布。								
その他 (受講生への要望等)	・ 参考資料は事前に知らせるので、授業前までに目を通すこと。								
教員 e-mail アドレス	kanzaki@dr.com								

授業科目名	プレゼンテーション論								
担当者名	阿部 敬一郎								
科目コード	2100004	授業形態	講義						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
			○			○	○	○	
授業の概要と方法	プレゼンテーションがなぜ必要とされたのか、時代のニーズとツールを理解する。プレゼンテーションの上手な有名人を分析していきます。								
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を発信する上で必要な準備を理解し、自らがプレゼンテーションを行う上で必要とされるスキルを会得できる。 ・誰にでもわかりやすい意見の表示を目指す。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーションとは？ 授業の進め方の説明 2. 自分の考えをまとめる手法 3. 自分の意見を効果的に組み立てる方法 4. 聞き手が自分の意見を受け入れやすくする方法 5. 課題の原因を探り、解決策を見つける方法 6. 課題を整理する方法 7. 課題の発表 8. 効果的なトークスキル 9. トークを失敗した時は？ 10. 有名人のプレゼンテーション分析① 11. 有名人のプレゼンテーション分析② 12. グループで有名人のプレゼンテーションを分析 13. グループで分析した内容の発表 14. これからのプレゼンテーションに求められること 15. 新しいプレゼンテーションツールによって変わることを、総括 								
成績評価の方法	[評価項目と割合] 課題 (60%)、レポート (30%)、その他 (10%)								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題…テーマを決め、チームで学習およびプレゼンを作ってもらいます ・テレビでもインターネットでもプレゼンテーションの上手な人を何人か探し、何度でも見られるようにしておいてください 								
使用テキスト	使用しない								
参考書 (参考資料等)	・必要とする参考資料を配布。								
その他 (受講生への要望等)	・Youtube など動画サイトを閲覧できるようにしておいてください。								
教員 e-mail アドレス	kanzaki@dr.com								

授業科目名	情報リテラシー								
担当者名	的野 和靖								
科目コード	2100023	授業形態	演習						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
			○			○	○	○	
授業の概要と方法	コンピュータの基本操作、Web による情報検索、メールの基礎知識と実践、情報セキュリティ、ファイルシステム、Office、ソフトの基本操作方法と活用方法を学び、社会生活などに有効活用していくための基礎知識を身につける。								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの基本操作ができる。 2. Web より必要な情報が検索できる。 3. ビジネスメールを送受信できる。 4. Office ソフト (Word、Excel、Powerpoint) の基本操作ができる。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Windows7 の基本操作、オリエンテーション、ログイン・パスワード変更 2. パソコンの構成、インターネット・電子メールの仕組み 3. 電子メール演習 4. 文書作成ソフト (Word) 演習(1) 基本操作 5. 文書作成ソフト (Word) 演習(2) 課題作成 6. 情報セキュリティと情報モラル 7. プレゼンテーションソフト (Powerpoint) 演習(1) 基本操作 8. プレゼンテーションソフト (Powerpoint) 演習(2) 基本操作 9. コンピュータの基礎知識問題 10. 表計算ソフト (Excel) 演習(1) 基本操作 11. 表計算ソフト (Excel) 演習(2) グラフ 12. 表計算ソフト (Excel) 演習(3) データの並べ替え 13. 表計算ソフト (Excel) 演習(4) 関数 14. 表計算ソフト (Excel) 演習(5) 総合演習 15. まとめ 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>授業態度(10%)、レポート・小テスト(30%)、定期試験(60%)</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中に前回の授業内容を復習する。 ・欠席した場合は、欠席した回の授業を確認し、次回までに追いついておくこと。 								
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報処理入門(Windows7 版)~Windows7 Office2013 対応~」 (システムテクニカルサービス株式会社) 								
参考書 (参考資料等)	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜資料を配布する 								
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な説明を行った後に演習を行います。 ・基本的なことから学修しますので、臆することなく授業に参加してください。 								
教員 e-mail アドレス	matono@hcc.ac.jp (講義時) / hccmatono@gmail.com (講義時間外)								

授業科目名	キャリアアップ演習 I								
担当者名	学科教員								
科目コード	2100038	授業形態	演習						
学 年	1	開 講 期	通年（前期）						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
			○						
授業の概要と方法	<p>情報化・グローバル化・少子高齢化・消費社会等の時代背景を踏まえ、社会人として自立できる「生きる力」の育成を主眼とします。</p> <p>社会的及び職業的自立を図るために必要な能力、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康」という3つの柱を基盤に、多方面からの授業展開を行います。</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職業人として必要な基礎的学力を修得する。 2. 社会人として必要なコミュニケーション能力を向上させる。 3. 生活者として必要な一般常識を認識する。 4. 心身共に健康な、人間力を形成する。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. レクスポ大会の意義 競技メンバーの選出 3. レクスポ大会の準備 競技の理解・練習 4. 学生生活について 入学後1ヵ月が経過、卒業までの自己計画 5. 免許・資格・検定受験について（コース別説明会） 6. 就職ガイダンス 就職するという事の意義 7. 学科長講話・大学祭の意義 約割分担 〈1・2年合同〉 8. 夏期集中講義について（コース別説明会） 9. 免許・資格・検定対策講座（コース別） 10. 就職ガイダンス 自己分析とライフプラン 11. 社会人としてのマナー ①話し方講座 12. 特別講義 リプロダクティブヘルス・ライツ（外部講師） 13. 感染症予防について 〈1・2年合同〉 14. 大学祭について コースに分かれ展示・行事の計画 〈1・2年合同〉 15. 前期定期試験及び夏期休暇中の留意点 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>受講態度…参加姿勢・積極性（50%）、レポート（50%）</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<p>・各回の講義において、事前準備・事後学修等について連絡します。</p>								
使用テキスト	<p>・講義中に適宜、資料を配布する。</p>								
参考書（参考資料等）	<p>特になし</p>								
その他 (受講生への要望等)	<p>・主に外部講師等のスケジュール変更により、実施時期が変動する可能性があります。掲示連絡に注意してください。</p>								
教員 e-mail アドレス	<p>講義開始後に改めて連絡をします。</p>								

授業科目名	キャリアアップ演習 I								
担当者名	学科教員								
科目コード	2100038	授業形態	演習						
学 年	1	開 講 期	通年（後期）						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
			○						
授業の概要と方法	<p>情報化・グローバル化・少子高齢化・消費社会等の時代背景を踏まえ、社会人として自立できる「生きる力」の育成を主眼とします。</p> <p>社会的及び職業的自立を図るために必要な能力、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康」という3つの柱を基盤に、多方面からの授業展開を行います。</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職業人として必要な基礎的学力を修得する。 2. 社会人として必要なコミュニケーション能力を向上させる。 3. 生活者として必要な一般常識を認識する。 4. 心身共に健康な、人間力を形成する。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期 授業スケジュールの説明 2. 社会人としてのマナー ②電話対応 接遇 3. 就職ガイダンス「就職活動開始にあたって」 4. 大学祭準備 コースに分かれ展示・行事の準備 〈1・2年合同〉 5. 大学祭準備 展示ボードの準備 〈1・2年合同〉 6. 大学祭の反省及び留意点について 7. 社会人としてのマナー ③ヘア・メイクアップ 8. 免許・資格・検定対策講座（コース別） 9. 行事教育「針供養・学内成人式の意義」 〈1・2年合同〉 10. 針供養・学内成人式の反省及び留意点について 11. 人権教育「同和教育講座」（外部講師） 12. 1年次における取得単位数について 冬期休暇中の留意点 13. 就職講座「2年生からのメッセージ」 14. 後期定期試験及び学年末スケジュールについて 15. 1学年の自己総括（目標の達成状況と自己分析・課題） 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>受講態度…参加姿勢・積極性（50%）、レポート（50%）</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<p>・各回の講義において、事前準備・事後学修等について連絡します。</p>								
使用テキスト	<p>・講義中に適宜、資料を配布する。</p>								
参考書（参考資料等）	<p>特になし</p>								
その他 (受講生への要望等)	<p>・主に外部講師等のスケジュール変更により、実施時期が変動する可能性があります。掲示連絡に注意してください。</p>								
教員 e-mail アドレス	<p>講義開始後に改めて連絡をします。</p>								

授業科目名	キャリアアップ演習 II								
担当者名	学科教員								
科目コード	2100039	授業形態	演習						
学 年	2	開 講 期	通年（前期）						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
			○						
授業の概要と方法	<p>情報化・グローバル化・少子高齢化・消費社会等の時代背景を踏まえ、社会人として自立できる「生きる力」の育成を主眼とします。</p> <p>社会的及び職業的自立を図るために必要な能力、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康」という3つの柱を基盤に、多方面からの授業展開を行います。</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職業人として必要な基礎的学力を修得する。 2. 社会人として必要なコミュニケーション能力を向上させる。 3. 生活者として必要な一般常識を認識する。 4. 心身共に健康な、人間力を形成する。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 就職へ向けての個別面談 2. レクスポ大会の意義 競技メンバーの選出 3. レクスポ大会の準備 競技の理解・練習 4. 就職ガイダンス 就職活動の方向性 5. 就職試験対策「SPI 講座」 (外部講師) 6. 就職講座「卒業生からのメッセージ」 一般・アパレル 7. 学科長講話・大学祭の意義 役割分担 (1・2年合同) 8. パフォーマンス・アート (身体表現) ①スタンディング 9. 地域社会とのコラボレーション計画 学外活動の説明 10. 人権教育「同和教育講座」 (外部講師) 11. 就職講座「卒業生からのメッセージ」 金融・医療 12. オープンキャンパスについて コースに分かれ準備 13. 感染症予防について (1・2年合同) 14. 大学祭について コースに分かれ展示・行事の計画 (1・2年合同) 15. 前期定期試験及び夏期休暇中の留意点 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>受講態度…参加姿勢・積極性 (50%)、レポート (50%)</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<p>・各回の講義において、事前準備・事後学修等について連絡します。</p>								
使用テキスト	<p>・講義中に適宜、資料を配布する。</p>								
参考書 (参考資料等)	<p>特になし</p>								
その他 (受講生への要望等)	<p>・主に外部講師等のスケジュール変更により、実施時期が変動する可能性があります。掲示連絡に注意してください。</p>								
教員 e-mail アドレス	<p>講義開始後に改めて連絡をします。</p>								

授業科目名	キャリアアップ演習 II								
担当者名	学科教員								
科目コード	2100039	授業形態	演習						
学 年	2	開 講 期	通年（後期）						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
			○						
授業の概要と方法	<p>情報化・グローバル化・少子高齢化・消費社会等の時代背景を踏まえ、社会人として自立できる「生きる力」の育成を主眼とします。</p> <p>社会的及び職業的自立を図るために必要な能力、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康」という3つの柱を基盤に、多方面からの授業展開を行います。</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職業人として必要な基礎的学力を修得する。 2. 社会人として必要なコミュニケーション能力を向上させる。 3. 生活者として必要な一般常識を認識する。 4. 心身共に健康な、人間力を形成する。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期 授業スケジュールの説明 2. 取得単位数の最終確認 卒業へ向けての個別面談 3. パフォーマンス・アート（身体表現） ②ウォーキング 4. 大学祭準備 コースに分かれ展示・行事の準備 〈1・2年生合同〉 5. 大学祭準備 展示ボードの準備（地下倉庫から各フロア）〈1・2年生合同〉 6. 大学祭の反省及び留意点について 7. 就職講座「卒業生からのメッセージ」 美容関係 8. パフォーマンス・アート ③ダンス / 美容師国家試験対策授業 9. 行事教育「針供養・学内成人式の意義」 〈1・2年生合同〉 10. 針供養・学内成人式の反省及び留意点 / 美容師国家試験対策授業 11. 卒業制作展・ファッションショーの計画 / 美容師国家試験対策授業 12. 冬期休暇中の留意点 / 美容師国家試験対策授業 13. 検定対策最終講座（コース別） / 美容師国家試験対策授業 14. 後期定期試験及び年度末学年スケジュールについて 15. 学生生活の自己総括（目標の達成状況を自己分析） 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>受講態度…参加姿勢・積極性（50%）、レポート（50%）</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<p>・各回の講義において、事前準備・事後学修等について連絡します。</p>								
使用テキスト	<p>・講義中に適宜、資料を配布する。</p>								
参考書（参考資料等）	<p>特になし</p>								
その他 (受講生への要望等)	<p>・主に外部講師等のスケジュール変更により、実施時期が変動する可能性があります。掲示連絡に注意してください。</p>								
教員 e-mail アドレス	<p>講義開始後に改めて連絡をします。</p>								

授業科目名	人間関係論								
担当者名	白川 美知子								
科目コード	2100001	授業形態	講義						
学 年	2	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
			○				○	○	
授業の概要と方法	<p>①人間関係のあり方を理解し、自分と他者を動かす人間関係の構築について学習します。</p> <p>②チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) をとり入れ、問題解決を図ります</p>								
授業の到達目標	<p>①チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) をとり入れ、誰とでもコミュニケーションがとれるようにします。</p> <p>②組織活動にかなった良好な人間関係を築けるようにします。</p> <p>③組織の中で、スムーズに人間関係を築き問題解決を図ることを目標とします。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) 事例① 3. 人間の幸せとビジネス活動 XY 理論 4. 人間はなぜ働くのか マズロー欲求の 5 段階 5. テイラーの科学的管理法、ホーソン実験、パブロフの犬 6. チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) 事例② 7. 自己理解と他者理解 エゴグラム作成 8. コミュニケーションの重要性 良好な人間関係を築くコミュニケーションの取り方 9. 相手の存在や価値を認める エゴグラムの応用 10. チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) 事例③ 11. 相手と自分をよく知るソーシャルスタイル 12. 職場の人間関係の重要性(1) 13. 職場の人間関係の重要性(2) 14. チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) 事例④ 15. まとめ 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>グループワーク (40%)、定期試験 (30%)、授業への取組み (20%)、プレゼンテーション (10%)</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・準備学習は、課題の事前準備をしておくこと。 ・事後学習は、毎回のまとめをしておくこと。 								
使用テキスト	<p>使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、資料を配布する。 								
参考書 (参考資料等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読むこと。 ○「ビジネス実務の基礎」白川美知子 共著 (学文社) 								
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義形式とチーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) を多くとり入れるため、積極的にチームに参加してほしい。 								
教員 e-mail アドレス	sirakawa@fukuoka-int-u.ac.jp								

授業科目名	カラーコーディネート								
担当者名	山澤 薫								
科目コード	2100010	授業形態	講義						
学 年	1	開 講 期	後期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
			○			○			
授業の概要と方法	<p>コミュニケーション色彩心理学・色彩学・パーソナルカラー論の3方向から幅広く色彩の基礎知識を理解できる授業とする。目的は2つ。</p> <p>① クライアント及び仕事仲間とのコミュニケーションの糧となる色彩心理学の基礎知識を習得すると同時に、色彩心理の必要性の理解を深め、実践に役立てる可能性を実感できること。</p> <p>② 色彩学やパーソナルカラーの基礎知識を理解し、更にその知識を持って、自らが表現する機会を多く持つことによって、色彩の知識を武器にプレゼンテーションする可能性を意識すること。</p> <p>授業方法は、テキストや資料での講義形式の他、自らが作業を行って資料を作成したり、グループでのワークショップ行うなどアウトプットの機会を持ちながら進める。</p>								
授業の到達目標	<p>① 色彩心理とコミュニケーションの関係を理解できる</p> <p>② 人が色を感じるために必要な内容とはなにかを理解できる</p> <p>③ 三属性について理解でき、おおまかなトーンを見分けることができる</p> <p>④ 色で表現できるイメージについて理解でき、イメージを適切な色で表現できる</p> <p>⑤ パーソナルカラーの概論が理解でき、シーズン診断の方法を体感できる</p> <p>⑥ 色彩の知識を使ったカラーコーディネートの提案資料を作成できる</p>								
授業計画	<p>オリエンテーション及び色とコミュニケーションⅠ 1. (色彩エネルギーと情動、及びチューニングの方法①) 必要物品：クーピーペンシル</p> <p>色とコミュニケーションⅡ 2. (色彩エネルギーと情動、及びチューニングの方法②カラーメンタリング®体験) 必要物品：クーピーペンシル、カラーメンタリング®資料一式</p> <p>3. 色とコミュニケーションⅢ(自分自身を色で振り返る)…<u>提出物①(次回講義日に回収)</u> 必要物品：クーピーペンシル</p> <p>4. 色とコミュニケーションⅣ(コミュニケーションへの活かし方) 必要物品：クーピーペンシル</p> <p>5. 色彩の基礎Ⅰ(色と光) 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ or カッター、クーピーペンシル</p> <p>6. 色彩の基礎Ⅱ(色の分類と三属性) 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ・スティックのり、クーピーペンシル</p> <p>7. 色彩の基礎Ⅲ(色彩調和) 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ、スティックのり、クーピーペンシル</p> <p>8. 色彩の基礎Ⅳ(色彩心理) 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ、スティックのり、クーピーペンシル</p> <p>9. 色とイメージⅠ(イメージワード) 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ、スティックのり、クーピーペンシル</p> <p>10. 色とイメージⅡ(イメージのカラーリング)…<u>提出物②(次回講義日に回収)</u> 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ、スティックのり、クーピーペンシル</p> <p>○小試験(色彩の基礎知識とイメージ) 11. 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ、スティックのり、クーピーペンシル、ファッション雑誌(必要な場合)</p> <p>12. パーソナルカラーⅠ(概論) 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ、スティックのり、手鏡、クーピーペンシル</p> <p>13. パーソナルカラーⅡ(ドレーピング実習) 必要物品：テキスト、新配色カード199b、手鏡、クーピーペンシル</p> <p>14. パーソナルカラーⅢ(パーソナルカラーシーズンボード作成) 必要物品：テキスト、新配色カード199b、はさみ、スティックのり、クーピーペンシル、ファッション雑誌</p> <p>15. プレゼンテーションとまとめ 必要物品：テキスト・スタイリングボード、プレゼンに必要なツール、クーピーペンシル</p>								

成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>授業態度 (30%)、提出物の期限内提出状況とその内容 (30%) プレゼンテーションのチカラ (10%)、授業内の小試験点数 (30%) 以上のポイントを鑑みて、総合的に判断します。</p>
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<p>・講義の進度に応じて、次回までに行うべき準備学修及び事後学修について指示します。</p>
使用テキスト	<p>○「AFT 色彩検定公式テキスト 3 級編」(株式会社 AFT 企画)</p>
参考書 (参考資料等)	<p>○「JAFCA ファッションカラー」 ○「AFT 色彩検定公式テキスト 2 級編」 ○「はじめてのパーソナルカラー」トミヤママチコ (色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト)</p>
その他 (受講生への要望等)	<p>ファッション業界で活躍することを前提にした授業を心がけていきます。 自らが、能動的に現場での色の必要性への理解を深めていただきたいと思います。 なお、色彩の基礎知識については、ファッションの分野で定評のある、AFT 色彩検定 3 級を視野に進めますが、検定対策のための講義は行いません。検定を 受検する上での能動的な質問・相談には可能な限り応じますが、授業以外の自主 学習は必須です。</p>
教員 e-mail アドレス	<p>info@switchcolors.com</p>

授業科目名	ネイルアート								
担当者名	恩田 美智子								
科目コード	2100040	授業形態	演習						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
						○			
授業の概要と方法	<p>ネイルテクニックの基本である健康で美しい指先を保つためのネイルケア（爪の形や皮膚の状態を整え美しく仕上げる知識や技術）やハンドマッサージ・カラーリングまでの技術やさまざまな材料を用いて爪表面を彩りデザインするネイルアートを習得する。爪の構造や異常、病気などの知識を学ぶ。</p> <p>さらにネイリスト技能検定・ジェルネイル技能検定を取得できる技術と理論も学ぶ。施術内容によっては相モデルで行う。細かいネイル技術のため技術工程のデモンストレーションを行い、ネイル技術工程のDVD等も見る。</p>								
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルに関する正しい基礎知識や技術を習得し、一人ひとりの個性やファッション、イメージに、そしていろいろなライフスタイルに合ったネイルカラーデザインやネイルアートが提案できることを目標とする。 ・自分の爪に施術ができ、相モデルで実習を行い他の人の爪にも施術ができるようになることを目標とする。 ・ネイリスト技能検定及びジェルネイル技能検定取得を目指すことが出来ます。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習教材、授業内容についての説明・ネイル概論 プレマニキュア（Ⅰ） 2. プレマニキュア（Ⅱ）… テーブルセッティング・ファイル 3. ケア（Ⅰ）… キューティクルクリーン 4. ケア（Ⅱ）… ファイル・キューティクルクリーン・バッフィング 5. カラーリング（Ⅰ）… ポリッシュの取り方・塗り方 6. ケア（Ⅲ）・カラーリング（Ⅱ）… ケア～カラーリング 7. ハンドマッサージ・ネイルアート（Ⅰ） …フラットアート（ストーン・ペイント・ポリッシュ） 8. ネイルアート（Ⅱ）… テーマにそったネイルアート作製 9. リペア・チップ&ラップ …リペア・チップラップ、オフ 10. ジェルネイル（Ⅰ） … ジェルカラーリング、ジェルアート（ピーコック・フラワー）、オフ 11. ジェルネイル（Ⅱ） … ジェルカラーリング、ジェルグラデーション、ジェルフレンチ 12. スカルプチュア（Ⅰ）… スカルプチュア実技、オフ 13. スカルプチュア（Ⅱ）… 3Dアート（エンボス・立体アート） 14. ネイルアート（Ⅲ）… テーマにそったデザイン決め、ネイルアート作製(ネイルチップ) 15. ネイルアート（Ⅳ）… ネイルアート作製(ネイルチップ) 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>課題への取組み方 (50%)</p> <p>作品・課題提出 (50%)</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイル道具は授業内で配布します。 ・学んだ知識はや技術は復習し、次の授業内容についてテキストで確認してください。 								
使用テキスト	○「テクニカルシステム BASIC」(NPO 法人日本ネイリスト協会発行)								
参考書 (参考資料等)	・必要時資料配布します。								
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストをよく読み、ネイル技術について理解しておく。 ・雑誌等で今流行のネイルについて調べる。 ・自分の爪に施術を行う場合は何もしていない状態にしてください（事前に連絡します）。 								
教員 e-mail アドレス	onda@hcc.ac.jp								

授業科目名	アロマセラピー								
担当者名	安村 百合子								
科目コード	2100041	授業形態	演習						
学 年	2	開 講 期	後期						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
						○			
授業の概要と方法	アロマセラピーとは花や木などに由来する芳香成分（精油）を用いて心身の健康や美容を増進する技術または行為のことである。アロマセラピーが身体に影響を及ぼすのかを深く理解する。								
授業の到達目標	花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに自然の香りに親しみ、より豊かなライフスタイルを提案できる人を目指す。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精油の扱い方を知る 2. 精油の抽出方法を知る 3. トリートメントオイル（キャリアオイル）の種類を学ぶ 4. 精油のブレンド方法を身につける 5. 精油の脳に与える影響を知る 6. フェイストリートメントの体験 7. 香りの歴史を学ぶ 8. 精油の安全性と危険性を知る 9. 精油による具体的な症状のケアについて学ぶ 10. オイルトリートメントの体験 11. 香りによる心理作用を考察する 12. 香水の知識を深め、精油で作成する 13. 精油の化学的成分を学ぶ 14. 精油の禁忌や注意点を示す成分 15. アロマセラピーに関する法令 								
成績評価の方法	・クラフト制作や授業への取り組み、普段の受講態度を加味して総合的に評価する。								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	・講義中に、次回の講義までに行うべき準備学修及び事後学修について指示します。								
使用テキスト	○「アロマコーディネーター レッスン用テキスト」 日本アロマコーディネーター協会 ○「精油テキスト」 日本アロマコーディネーター協会								
参考書（参考資料等）	特になし								
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習としてクラフト作りを取り入れています。 (例：バスソルトやトリートメントオイル 等) ・クラフト作りで作成したものは自宅で使用すること。 ・日常生活の中で自分自身の心身の健康のためのアロマセラピーを意識してください。 								
教員 e-mail アドレス	lilychantelove@docomo.ne.jp								

授業科目名	ヘアメイクアップ								
担当者名	木村 祐紀子								
科目コード	2100042	授業形態	演習						
学 年	2	開 講 期	後期						
単 位 数	1	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
					○				
授業の概要と方法	<p>基礎的なメイクアップ技術及びヘアアレンジ法を学び、これから社会人としてTPOに合わせたヘアアレンジとメイクアップを習得する。</p> <p>自分の骨格を見極めて顔や頭の特徴をとらえ、活かす、調整する技術を学ぶ。</p> <p>美容道具の取扱の基本を習得し、シーンや目的に応じてヘアスタイルやメイクアップも変化させていけるように、技術テクニックを実践で行う。</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ヘア、メイクの基礎づくりができる。 基礎を知ることにより、ナチュラルヘアメイク～パーティー用、ステージ用など応用することができるようになる。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> メイクアップについて ベースメイク 顔のバランス ベースメイク ファンデーション ポイントメイク 眉・アイメイク ポイントメイク チーク・リップ クレンジング、マッサージ 補正テクニック メイク復習 ヘアアイロンの使い方 ホットカーラーの使い方 巻き髪、ダウンスタイルにチャレンジ パート分け、毛束を留める、逆毛を立てる 他 三つ編みアレンジ、シニヨンアップ ヘア復習 まとめ 								
成績評価の方法	<p>[評価項目と割合]</p> <p>課題への取り組み方 (70%)</p> <p>作品・課題提出 (30%)</p>								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	・学習したことを日常で活用して下さい。								
使用テキスト	・必要時に資料配布。								
参考書 (参考資料等)	・美容関係の書籍やファッション誌 等								
その他 (受講生への要望等)	・筆記用具、日頃使用しているヘア、メイク道具を持ってきて下さい。								
教員 e-mail アドレス	kimura@hcc.ac.jp								

授業科目名	ブライダルプランナー演習 I								
担当者名	井上 登美子								
科目コード	2100036	授業形態	演習						
学 年	1	開 講 期	前期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択必修	選択	美免必修	ビジネス実務士必修	情報処理士必修	医療秘書必修
					○				
授業の概要と方法	ブライダル業界への進出を最終目標とし、その第一歩として、1年前期「ブライダルプランナー演習I」では、全米ブライダルコンサルタント協会（ABC）認定、「ブライダルプランナー検定3級」全員受験、 <u>全員合格</u> を目指し、公式テキストに沿って授業を展開します。また、1年後期「ブライダルプランナー演習II」「ブライダルプランナー検定2級」を、選択受講及び受験するモチベーションが維持できるよう、多方面からのアプローチを試みます。前期終了時に、学外施設での研修を実施します。								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ブライダル分野に関する基礎的知識が習得できている。 テーマごとのまとめのテストにおいて、80%以上の解答率が確保できる。 ブライダルプランナー検定3級 全員受験 <u>全員合格</u>。 グループワークによるウェルカムボードの制作・プレゼンテーション能力の向上。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 授業計画 ブライダルプランナー及び検定について 第1章 日本のブライダル市場 ①業界の変遷、市場の理解 〃 ②市場の現状、ブライダルビジネス 第2章 ウェディングの決定 ①結納、媒酌人、仲人 〃 ②会場の選定、挙式の形態 (ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション) 第3章 婚礼施設の主要業務 第4章 関連商品・サービス/衣裳 ①営業形態、ビジネス 〃 ②和装、洋装 (ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション) 第5章 関連商品・サービス/主要各業者 ①フラワー、着付け 〃 ②進行、演出 (ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション) 模擬試験 及び 検定対策講義 第6章 部分 学 外 研 修 (レストラン、カフェにおけるウェディングについて) 								ウェルカム ボード制作 ↓ プレゼン テーション
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 章終了ごとのミニテストの結果 (20%) 課題作品への取り組み方 (40%)、及びプレゼンテーション (40%) 								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> 各章の予習、復習 使用素材含め、課題作品のイメージにそった資料の検索 スケジュール (制作・プレゼン) の自己設定、実施計画 								
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「The Business of Japanese Weddings」(全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス) ○ 「The Business of American Weddings」(同上) ※ブライダルプランナー検定1・2・3級対応2冊セット →本学がブライダル認定校のため、一般販売の約半額 実験実習費で徴収、講義時に配布								
参考書 (参考資料等)	○ 「25ans ウェディング」、「ゼクシィ」 他								
その他 (受講生への要望等)	<ul style="list-style-type: none"> 学外研修として、レストラン or カフェでのウェディング (テーブル) セッティング及びマナー (フルコースランチ) を計画 ABC 協会認定 ブライダルプランナー検定 3 級：前期終了時に実施 (前期定期試験中の予定) 								
教員 e-mail アドレス	inoue@hcc.ac.jp								

授業科目名	ブライダルプランナー演習 II								
担当者名	井上 登美子								
科目コード	2100037	授業形態	演習						
学 年	1	開 講 期	後期						
単 位 数	2	履 修 方 法	必修	選択 必修	選択	美免 必修	ビジネス 実務士 必修	情報処理士 必修	医療秘書 必修
					○				
授業の概要と方法	1 年前期「ブライダルプランナー演習 I」で習得した基礎的知識を踏まえ、1 年後期「ブライダルプランナー演習 II」では、更にグローバルな視点での総合的知識を身に付け、ブライダル業界で活躍できる人材の育成を目標とします。全米ブライダルコンサルタント協会（ABC）認定、「ブライダルプランナー検定 2 級」「ドレススタイリスト検定」合格に向け、公式テキストに沿って授業を展開し、また、最終的には学外研修として、ブライダル関係の施設見学を計画しています。								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダル分野において、日本だけでなく、グローバルな視点（特にアメリカン・ウェディング）での総合的知識が修得できている。 2. テーマごとのまとめのテストにおいて、80%以上の解答率が確保できる。 3. 「ブライダルプランナー検定 2 級」、「ドレススタイリスト検定」受験及び合格。 4. プレゼンテーション能力の向上が認められる。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、検定について、第 1 章 アメリカン・ウェディングとは 2. 第 2 章 アメリカン・ウェディング〈準備編 1〉①ブライズメイブ、アッシャー 3. // ②ギフト、アイテム 4. 第 3 章 アメリカン・ウェディング〈準備編 2〉①リハーサルディナー 5. // ②デスティネーションウェディング 6. (ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション) 7. 第 4 章 アメリカン・ウェディング〈本 番 1〉①聖職者、司式者 8. // ②宗教 (キリスト、ユダヤ) 9. 第 5 章 アメリカン・ウェディング〈本 番 2〉 10. (ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション) 11. 第 6 章 ブライダルコンサルタントの環境 ①ヴェンダー 12. // ②情報収集 13. (ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション) 14. 検定対策講義 15. 学外研修 (施設見学…ホテル or 専門会場におけるウェディング) 								
成績評価の方法	・各章ごとに実施するミニテストの結果 (20%)、 課題レポートの提出 (40%)、プレゼンテーション (40%)								
授業外で行うべき学修 (準備学修・事後学修等)	・各章の予習・復習 (不正解の個所を必ず復習する)								
使用テキスト	○「The Business of Japanese Weddings」(全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス) ○「The Business of American Weddings」(同上) ※前期 ブライダルプランナー演習 I から引き続き使用する								
参考書 (参考資料等)	○「25ans ウェディング」、「ゼクシィ」 他								
その他 (受講生への要望等)	・DVD 視聴による課題レポートあり ・テキストの次回の単元に必ず目を通す。ミニテストへ向け勉強する ・ABC 協会認定、ブライダルプランナー検定 2 級受。 (2017 年 1 月、受講者全員実施 → 不合格者は 9 月に再度チャンスあり) (// 2 月 ドレススタイリスト検定 実施予定)								
教員 e-mail アドレス	inoue@hcc.ac.jp								